

2024年 チェコ映画年間興行成績&動員No.1

アカデミー賞 国際長編映画部門 ショートリスト
チェコ・アカデミー賞7冠 (チェコライオン賞) 作品賞、監督賞、助演女優賞、助演男優賞、脚本賞、音響賞、観客賞
スロバキア・アカデミー賞9冠 (Sun in the Net Awards) 作品賞、監督賞、主演男優賞、脚本賞、撮影賞、編集賞、音響賞、衣装賞、視覚効果賞
カルロヴィ・ヴァリ 国際映画祭 観客賞受賞

もしこれを
放送できたら、
世界が変わる――

プラハの春 不屈のラジオ報道

VYSÍLÁ SE

監督・脚本: イジー・マードル
出演: ヴォイチェフ・ヴォドホツキー、スタニスラフ・マイエル、タチアナ・パウホーフォヴァー、オンドレイ・ストゥプカ
2024年/チェコ、スロバキア/チェコ語/131分/カラー/シネスコサイズ/原題: Vlny/英語: Waves
配給: アット エンタテインメント/後援: 駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター東京
チェコセンター 東京
pragueradiomovie.com

1968年〈プラハの春〉、ソ連軍の侵攻で放送局を占拠されても、
市民と自由のために、真実の放送を続け闘ったラジオ局員たちの、緊迫の実話。

CAST: VOJTECH VODOCHOVSKÝ, STANISLAV MAJER, TANA PAUHOFOVÁ, ONDŘEJ ŠTUPKA, MARTIN HOFMANN, TOMAS MASTALIR, IGOR BARŠ, MARIKA ŠOPOSKÁ, VOJTECH KOTEK, PETR LILJENČKA, MATYÁŠ REZNÍČEK, JAN NEDBAL, JACOB ERFTEMEIJER, PETR HALÍČEK
CINEMATOGRAPHY: MARTIN ZIARAN, EDITOR: FILIP MALÁSEK, SOUND DESIGN: VIKTOR EKRT, MUSIC: SIMON GOFF, PRODUCTION DESIGNER: PETR KUNC, COSTUME DESIGNER: KATARINA ŠTRBOVÁ, BIELIKOVÁ, HAIR & MAKEUP: ADELA ANDELA BURSOVÁ, JIŘINA PAHLEROVÁ, PRODUCTION: MONIKA KRSTIL, WRITTEN AND DIRECTED BY: JIŘÍ MÁDL

アカデミー賞 国際長編映画部門ショートリスト
チェコ&スロバキアのアカデミー賞で16冠!!

戦車に囲まれても、 命がけで報道を続けた、 ラジオ局員たちの 姿に胸が熱くなる、感動作



心揺さぶられる
スリリングな物語

Červený koberec

『アルゴ』のような緊張感!

Santa Monica Mirror

上映中、拍手が一度ではなく
三度も起こった

Webs of Significance

ジャーナリズムの重要性を
力強く主張している

The Hollywood Reporter

歴史を知らない観客も
きっと魅了されるだろう

Prague Reporter

【イントロダクション】

世界中で若者たちの理想とエネルギーが爆発した1968年—ベトナム反戦運動、五月革命、文化大革命、日本の学生運動。ソ連の共産主義支配下にあった東欧のチェコスロバキアでも、若者たちがデモやチャリンで民主化運動を起こした。その機運は国中に広まり、検閲の廃止や言論の自由が認められ、ついに“プラハの春”が訪れたと国民が思った矢先、ソ連がワルシャワ条約機構の軍を率いてチェコスロバキアに侵攻。軍は、当時の最大報道機関であるラジオ局を制圧し、「ソ連がチェコスロバキア国民を救出に来た」とフェイクの放送を流そうとする。しかし、ラジオ局の報道局員たちは、権力と戦車に立ち向かい、回線技術を駆使し、ラジオ局の外から真実の報道を続け、市民を励まし続けた。

この心揺さぶる感動の実話を描いた本作は、チェコ本国で8週1位、年間動員1位、国内映画年間興行成績1位、国内映画歴代2位と記録的なヒットとなり、チェコとスロバキア両国の国内最高映画賞16冠と圧巻の受賞。アカデミー賞国際長編映画部門ショートリスト(最終15作品)に選出された。

【STORY】

チェコスロバキア国営ラジオ局の国際報道部は、部長ミラン・ヴァイナーの下、政府の検閲に抵抗し自由な報道を目指して活動している。亡き両親に代わり弟バーヤの世話をするトマーシュは、中央通信局で働いていたが、上司命令により報道部に働くことになった。それは、学生運動に参加している弟を見逃す代わりに、報道部とヴァイナーを監視する国家保安部(StB)に協力させるためだった。ヴァイナーや局員たちの真実を報道しようとする真摯な姿勢を間近で目にし、信頼され仕事も任せられるようになったトマーシュは、弟の心配と良心の呵責で葛藤する。やがて、“プラハの春”が訪れ、国民が歓喜する中、トマーシュは中央通信局に呼ばれ、驚くべき内容をラジオで報道するよう命じられる。

“プラハの春”の影響

“プラハの春”は武力により1968年夏に数か月で制圧されたが、市民より生まれた民主化と自由を求める波は周辺諸国へと広がり、1989年にソ連の解体、東欧革命へと発展。またヨーロッパを越え、1979年の韓国「ソウルの春」、2010年のアラブ諸国の「アラブの春」へと影響を与えた。

監督・脚本: イジー・マードル

出演: ヴォイチェフ・ヴォドホツキー、スタニスラフ・マイエル[殺人分析]、タチアナ・パウホフ・フォヴァー[悪魔の恋人: リター・バロヴァ]、オンドレイ・ストゥプカ

2024年/チェコ、スロバキア/チェコ語/131分/カラー/シネスコサイズ/原題: Vlny(英題: Waves)/配給: アット エンタテインメント/後援: 駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター東京

© Dawson films, Wandal production, Český rozhlas, Česká televize, RTVS - Rozhlas a televízia Slovenska, Barrandov Studio, innogy

pragueradiomovie.com @pragueradiom f @pragueradiom



チェコ共和国大使館



チェコセンター
東京